

## 出土黒曜石の「戸籍」調査

### 【黒曜石はどこから来た？】

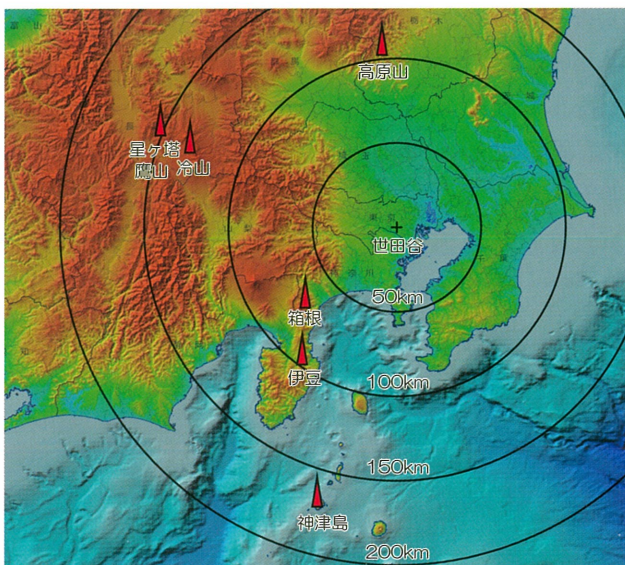
現在、原始・古代史編さん委員会では、世田谷で出土した旧石器時代と縄文時代の黒曜石（「黒曜石」とも書く）の産地の特定を専門の研究機関へ依頼し、蛍光X線分析を進めています。これは、黒曜石に含まれる微量元素（ケイ素・チタン・アルミニウム・鉄・マンガンなどの主要元素とルビジウム・ストロンジウム・イットリウム・ジルコニウムなど）を測定し、その産地を同定する、いわば黒曜石の「戸籍」を科学的に証明する作業です。



■写真A 削器(左3点と右上1点)・尖頭器(右下1点)<田直遺跡1号ブロック>

黒曜石は、世田谷を含む南関東地域では採取できません。したがって数10 kmから170 kmほど離れた産地から世田谷へ運ばれてきたこととなります（「遠隔地石材」）。

南関東地域で出土する黒曜石には、（1）長野県の中部高地産（世田谷との距離130～150 km 以下同）、（2）



■図 関東周辺の黒曜石産地

## 第8号 令和6（2024）年3月

伊豆箱根産（80～90 km）、（3）伊豆神津島産（170 km）、（4）栃木県高原山産（140 km）、以上4か所の主要原産地があります（図）。なかでも伊豆七島の神津島は、氷河期の極相期において100m以上海面が低下しても本土とつながらなかったため、渡海技術の存在なくして神津島産黒曜石の入手はかなわなかったと考えられます。

### 【産地同定のゆくえ】

世田谷区内では、これまでに上記4か所のうち栃木県の高原山を除いた3か所の産地が確認されています。そして、この一連の調査で、遺跡単位や時期によって黒曜石の産地が異なることが、徐々に明らかとなりました。例えば、旧石器時代の遺跡である田直遺跡（大蔵五丁目）のIV層で、槍先形尖頭器を主にした二つのブロックが出土しましたが、全出土石器766点中764点が黒曜石で占められ、それも黒曜石全点の産地は長野県蓼科冷山1か所だったことが判りました（写真A・B）。また、下山遺跡と瀬田遺跡の同じVI層から出土した透明度の高い良質な黒曜石は、すべて長野県の中部高地産でしたが、それらに冷山産は含まれず、諏訪星ヶ塔や和田鷹山など産地は複数でした。さらに、縄文時代中期中葉の勝坂1～3式期に大半を占めた神津産の黒曜石が、中期後葉の加曾利E3式期では、長野県の中部高地産が主となる逆転現象も見られ、同E4式期では、その傾向がますます顕著になることも明らかとなりました。このことは南関東全域の傾向とも一致します。

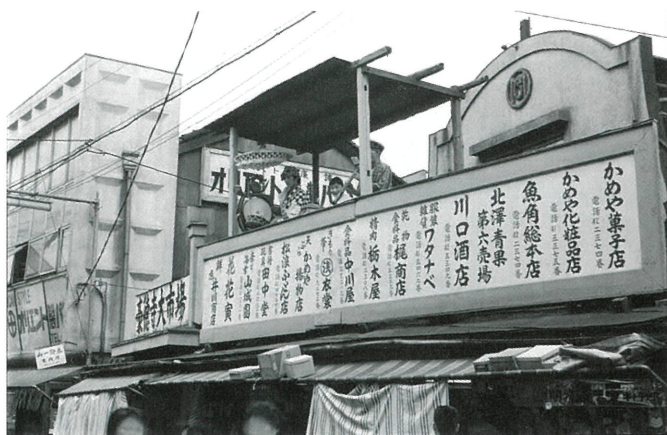


■写真B 尖頭器(左4点)・削器(右1点)<田直遺跡2号ブロック>

このように黒曜石の「戸籍」調査は、その流通が時代や地域によって一様ではないことや、巨視的に捉えれば、南関東に共通した大きなムーブメントがあったことを示す有益な情報をわれわれに提供してくれます。



しかし、急速なモータリゼーションや大型店舗の郊外進出が地域経済に与えた影響は大きく、全国の商店街は急速に活気を失っていきました。平成 18 (2006) 年に実施された世田谷区の調査では、62%以上の区民が「日頃よく買い物する場所」の問いに対し、「大型店」と回答しています。一方で商店街の印象については、「安心して歩いて買い物ができる」「雰囲気がよい」といった回答も 7 割を占めており、身近な商店街ならではの良さも改めて見直されているようです。



■戦後の「豪徳寺大市場」。今では見かけなくなったチンドン屋の姿が見える。(昭和 36 年/郷土資料館所蔵)

商店街にも様々な歴史があります。変化していく商店街に今後も注目していきます。

<参考文献>『商業繁栄地区とその資料』(昭和 40 年) / 『世田谷区商業名鑑』(平成 13 年) / 「世田谷区内産業の現状分析調査報告書」(平成 19 年)  
鈴木隆男「商店街とは何かーその形成の歴史と商業政策の変遷」  
(『企業診断ニュース』(平成 27 年) / 「千葉宏文書」。

## 『区史研究 世田谷』第 4 号発刊

令和 6 年 3 月より、区政情報センターなどで販売予定です(税込価格 550 円)。なお区内の図書館や図書室でも閲覧できます。

### 【論文】

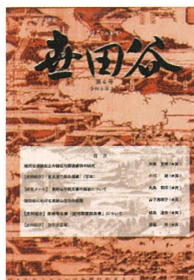
- 廻沢北遺跡出土の細石刃関連資料の研究
- 世田谷地域における高野山信仰の展開

### 【研究ノート】

- 高野山櫻池院供養帳の世界

### 【史料紹介】

- 「吉良源六郎先祖書」(写本)
- 豪徳寺文書「認可僧堂報告書」について
- 「世田谷区報」にみる行政広報



## ～お知らせ～

『世田谷区史』の刊行が始まります。令和 6 年度内に近世編、7 年度内に中世編、以降令和 10 年度までに近代編、原始・古代編、現代編の刊行を順次予定しています。どうぞご期待ください。

## 聴かせてください・・・

戦時中のお話、戦後のお話、聴かせてください。

戦争体験、学童疎開、学徒勤労動員、占領下の様子など、皆さまに直接伺って記録に残していきたいと思います。口述記録は現代史の大切な資料です。

## ちょっと待って！ 捨てる前にご連絡を。

皆さまのお宅の押入れや物置に、古い写真やアルバム、日記、手紙、はがき、書類、レコード、戦前の新聞、家計簿、雑誌などが眠っていませんか？ これらは貴重な歴史資料かもしれません。捨てられる前に、まずはご連絡ください。担当が伺います。



〒 154-0016 東京都世田谷区弦巻 3-16-8  
世田谷区教育会館 3 階 区史編さん担当  
TEL 03-3429-4285  
FAX 03-5432-3047